

平成21年度 垂水市市民満足度調査 結果報告書

平成21年8月
垂水市

はじめに

平成18年度に引き続き、平成21年度垂水市市民満足度調査を行いましたところ、多くの皆様のご協力を頂きまして、この度、結果報告書を取りまとめることができました。

調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

さて、平成20年に市政運営の指針となる第4次垂水市総合計画が策定されました。市政運営におきましても、地方自治を取り巻く環境が大きく変わり、市民の視点に立った行政経営が求められているところでございます。

この「市民満足度調査」もそういった視点から第4次垂水市総合計画に定められた27の政策の「重要度」と「満足度」を皆様にお聞きしまして、全体として市民ニーズがどこにあるのかを見極めるために行ったものです。

今回の調査結果により、限られた財源を更に効果的かつ効率的に配分するために、また、27の政策がより充実し、市民の皆様の満足度が向上するよう活用に努めていきたいと考えております。

今後とも市政運営に対しまして、ご意見ご要望をいただければ幸いに存じます。

垂水市長 水迫 順一

目 次

I	調査の概要	3
1.	調査の目的	3
2.	調査の設計	3
3.	調査の内容	4
4.	調査結果の公表	4
II	調査結果	5
1.	回答者の属性分析	5
2.	政策別分析結果	7～8
(1)	共生・協働による地域づくりの推進	9
(2)	市民の多様な交流と連携の促進	10
(3)	地域を支える人材の育成	11
(4)	子育て支援体制の充実	12
(5)	学校教育の充実	13
(6)	学びあう社会の構築	14
(7)	地域文化の促進・保護・活用	15
(8)	地域保健の充実	16
(9)	高齢者保健福祉の推進	17
(10)	障害者保健福祉の推進	18
(11)	医療体制の充実	19
(12)	地域防災対策の推進	20
(13)	安心安全な地域社会の構築	21
(14)	快適な都市基盤の整備	22
(15)	循環型社会の構築	23
(16)	環境の保全	24
(17)	地域資源の活用	25
(18)	魅力ある農林業の振興	26
(19)	魅力ある水産業の振興	27
(20)	活気ある商工業の振興	28
(21)	働く環境の充実	29
(22)	魅力ある観光の振興	30
(23)	市民参画による行政経営	31
(24)	市民の目線による行政経営	32
(25)	市民の期待に応える職員の育成	33
(26)	行政改革の推進	34
(27)	財政運営の健全化	35
3.	第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析結果	36
4.	今後の居住志向	38～39
5.	平成21年度市民満足度調査総括	40～41
III	調査データ	43
1	クロス集計結果	44～55
2	政策別自由回答	56～72
3	今後の居住志向に対する自由意見	73～76
3	市政全般に関する自由意見	77～80

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第4次垂水市総合計画基本計画に基づく27の政策について、「満足度」及び「重要度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主役の行政を実践するための資料とする。

また、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

2. 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	住民基本台帳に記載された市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 調査基礎資料	住民基本台帳（平成21年5月1日現在）
⑤ 抽出方法	無作為抽出
⑥ 調査方法	郵送調査法 ・調査対象者には振興会経由で配布 ・無記名調査 ・返信用封筒で回収 ・郵送料金は、受取人払とする
⑦ 調査期間	平成21年6月18日（木）～7月3日（金） ※ただし、実績としては、7月13日の回収分までをデータ処理の対象とした。

3. 調査の内容

(1) 調査の対象

- ①第4次垂水市総合計画基本計画に掲げた27の政策に対する「重要度」及び「満足度」
- ②今後の居住志向（今後も垂水市に住みたいと思うか）
- ③市政に対する自由意見

(2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とし、また、その理由について、自由記述とした。また、上記③については、自由記述とした。

(3) 分析の方法

①回答者の属性分析

回答者の属性について、その割合等を集計する。また、必要なサンプル数についての検証を行う。

②政策別分析

政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。

また、自由意見は、政策ごとに記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。

これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。

③第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析

同基本構想「施策の大綱」に掲げた「基本目標」及び「重点目標」別に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。

④今後の居住志向に対する分析

回答状況及び属性ごとのクロス集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。

⑤市政全般に関する自由意見

記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、その意見に適切に対応することができるよう担当課別にまとめる。

4. 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

II 調査結果

1. 回答者の属性分析

(1) 必要なサンプル数についての検証

【アンケート回収数の信頼性検証】

アンケート回収数と誤差との関係は、当然アンケート回収数が少ないと誤差が大きく、回収数が多いと誤差は少なくなる。しかし、その関係は一定でなく、ある一定の数を超えると、回収数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなる。

統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差が3～5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると、384～1,067件であることが算出され、この程度の回収数があれば、住民意向の把握として十分納得できる数字になるといえる。

しかし、本市の回収数は329件であり、必要なサンプル数である384件を下回ったことから、若干ではあるが信頼性が確保されているとは言い難いと思われる。

なお、次回以降の調査の際には、最低でも400件の回答数を確保するため、回収率向上のための対策をとるなどの改善を行う必要がある。

<参考> サンプル数（アンケートの有効回答数）と誤差との関係式

$$\text{必要なサンプル数} = (\text{有意水準}^2 \times P(1 - P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準：統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数 (1.96)

P：誤差が一番大きくなるのは50%のときである (0.5)

目標誤差：3～5%以内であれば良いとされる

(2) 各カテゴリ内の項目設定と属性分析結果について

サンプル数が十分でなく、分析結果に誤差が生じるおそれがあることから、調査精度を高めるために、年齢別及び地区別の項目を必要最小限に整理して分析を行った。

- ①男女別：回答者は、女性の割合が男性より、7.3ポイント高い結果となった。
- ②年齢別：回答者は、10代、40代、60代の割合が高く、特に60代は4ポイント近く高い。なお、年代3区分程度で傾向を把握するため、次のとおり項目の設定を行った。
 - 若年層／18～39歳・構成比率 20.0%
 - 壮年層／40～59歳・構成比率 32.8%
 - 高年層／60歳以上・構成比率 46.8%
- ③職業別：回答者は、無職が30%を占め、以下、会社員、パート、専業主婦の割合が高い。
- ④地区別：回答者は、新城、垂水、牛根地区が高い。なお、大野や松ヶ崎地区の回答者が少ないことと中学校区レベルの傾向分析を行うことから、次のとおり項目の設定を行った。
 - 新城・柁原地区 / 構成比率 16.7%
 - 垂水地区 / 構成比率 49.2%
 - 水之上・大野地区 / 構成比率 8.8%
 - 協和地区 / 構成比率 10.6%
 - 牛根地区全域 / 構成比率 13.4%
- ⑤居住年数別：回答者の7割以上を居住20年以上が占めている。

■回答者の属性について

①男女別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 男性	500	50.0%	151	45.9%
2. 女性	500	50.0%	175	53.2%
未記入、不明			3	0.9%
合計	1,000	100.0%	329	100.0%

②年代別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 10代 (18歳以上)	6	0.6%	4	1.2%
2. 20代	105	10.5%	28	8.5%
3. 30代	124	12.4%	34	10.3%
4. 40代	134	13.4%	47	14.3%
5. 50代	201	20.1%	61	18.5%
6. 60代	201	20.1%	79	24.0%
7. 70以上	229	22.9%	75	22.8%
未記入、不明			1	0.3%
合計	1,000	100.0%	329	100.0%

③職業別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 会社員	-	-	52	15.8%
2. 自営業	-	-	27	8.2%
3. 公務員	-	-	25	7.6%
4. 農林水産業	-	-	22	6.7%
5. パートアルバイト	-	-	42	12.8%
6. 専業主婦 (主夫)	-	-	41	12.5%
7. 学生	-	-	5	1.5%
8. 無職	-	-	98	29.8%
9. その他	-	-	15	4.6%
未記入、不明	-	-	2	0.6%
合計	-	-	329	100.0%

④居住地別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 新城地区	70	7.0%	34	10.3%
2. 柁原地区	90	9.0%	21	6.4%
3. 垂水地区	470	47.0%	162	49.2%
4. 水之上地区	100	10.0%	25	7.6%
5. 大野地区	10	1.0%	4	1.2%
6. 協和地区	120	12.0%	35	10.6%
7. 松ヶ崎地区	40	4.0%	7	2.1%
8. 牛根地区	50	5.0%	22	6.7%
9. 境地区	50	5.0%	15	4.6%
未記入、不明			4	1.2%
合計	1,000	100.0%	329	100.0%

⑤居住期間別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 5年未満	-	-	30	9.1%
2. 5年～10年	-	-	15	4.6%
3. 10年～20年	-	-	40	12.2%
4. 20年以上	-	-	235	71.4%
未記入、不明	-	-	9	2.7%
合計	-	-	329	100.0%

2. 政策別分析結果

第4次垂水市総合計画基本計画に掲げている27の政策について、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、新たにニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度との乖離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものととしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度・満足度とも平均値より高い項目
- ◎Ⅱ：重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- ◎Ⅲ：重要度の平均値は低いが、満足度の平均値は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度・満足度とも平均値より低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：重要度もニーズも高い ／優先して改善を要する項目
- ◎Bエリア：ニーズ値は高いが重要度は低い／現状維持またはあり方を検討する項目
- ◎Cエリア：重要度は高いがニーズは低い ／現在の水準を維持する項目
- ◎Dエリア：重要度もニーズも低い ／改善の必要性が低い項目

ニーズ分析は、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位を求めている。項目単位の数字は、同じカテゴリ内（男女別、年齢別等）の属性別（男女別であれば「男」「女」のこと）のニーズ値の高い順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であるかを示したものである。なお、ニーズ値が平均以上の場合は、○付き数字で表記している。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。（なお、意見の詳細は、Ⅲ 調査データ 2. 政策別自由回答を参照のこと）

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1/3/5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

■政策別一覧表／重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	政策名	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価 エリア
		平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	標準 偏差	平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	標準 偏差		重要度－ 満足度	相対 順位	
1	共生・協働による地域づくりの推進	4.191	-0.120	16	0.84	3.315	-0.015	15	0.87	IV	0.876	21	D
2	市民の多様な交流と連携の促進	4.251	-0.060	13	0.81	3.316	-0.015	14	0.89	IV	0.935	16	D
3	地域を支える人材の育成	4.220	-0.091	14	0.84	3.283	-0.047	20	0.87	IV	0.936	15	D
4	子育て支援体制の充実	4.599	0.289	4	0.69	3.336	0.006	12	0.97	I	1.263	3	A
5	学校教育の充実	4.474	0.163	7	0.76	3.295	-0.035	18	0.94	II	1.179	4	A
6	学びあう社会の構築	4.128	-0.182	23	0.82	3.415	0.085	7	0.83	III	0.713	25	D
7	地域文化の促進・保護・活用	4.053	-0.258	26	0.90	3.514	0.184	4	0.86	III	0.539	27	D
8	地域保健の充実	4.586	0.276	5	0.64	3.742	0.412	1	0.95	I	0.844	22	C
9	高齢者保健福祉の推進	4.607	0.296	3	0.65	3.465	0.135	6	0.93	I	1.142	6	A
10	障害者保健福祉の推進	4.408	0.098	11	0.74	3.343	0.013	11	0.85	I	1.065	8	A
11	医療体制の充実	4.752	0.442	1	0.53	3.371	0.041	9	1.17	I	1.382	2	A
12	地域防災対策の推進	4.678	0.367	2	0.61	3.711	0.381	2	0.92	I	0.967	11	C
13	安心安全な地域社会の構築	4.543	0.233	6	0.69	3.629	0.299	3	0.89	I	0.914	18	C
14	快適な都市基盤の整備	4.425	0.114	9	0.75	3.475	0.145	5	0.96	I	0.950	12	C
15	循環型社会の構築	4.353	0.043	12	0.82	3.408	0.077	8	0.95	I	0.946	14	C
16	環境の保全	4.451	0.141	8	0.72	3.367	0.037	10	0.95	I	1.084	7	A
17	地域資源の活用	4.122	-0.188	24	0.83	3.323	-0.007	13	0.79	IV	0.799	24	D
18	魅力ある農林業の振興	4.194	-0.117	15	0.82	3.310	-0.020	16	0.80	IV	0.883	20	D
19	魅力ある水産業の振興	4.131	-0.179	22	0.85	3.298	-0.032	17	0.82	IV	0.833	23	D
20	活気ある商工業の振興	4.107	-0.204	25	0.87	3.159	-0.171	23	0.84	IV	0.948	13	D
21	働く環境の充実	4.423	0.113	10	0.79	2.825	-0.505	27	0.98	II	1.598	1	A
22	魅力ある観光の振興	4.136	-0.175	21	0.88	3.111	-0.219	25	0.92	IV	1.025	9	B
23	市民参画による行政経営	3.835	-0.475	27	0.92	3.133	-0.197	24	0.71	IV	0.702	26	D
24	市民の目線による行政経営	4.183	-0.128	17	0.86	3.294	-0.037	19	0.87	IV	0.889	19	D
25	市民の期待に応える職員の育成	4.179	-0.131	18	0.93	3.029	-0.301	26	0.99	IV	1.150	5	B
26	行政改革の推進	4.140	-0.170	20	0.87	3.208	-0.122	21	0.79	IV	0.932	17	D
27	財政運営の健全化	4.164	-0.147	19	0.89	3.189	-0.141	22	0.80	IV	0.975	10	D
	平均値	4.311				3.330					0.980		

■政策別分析結果

1. 共生・協働による地域づくりの推進

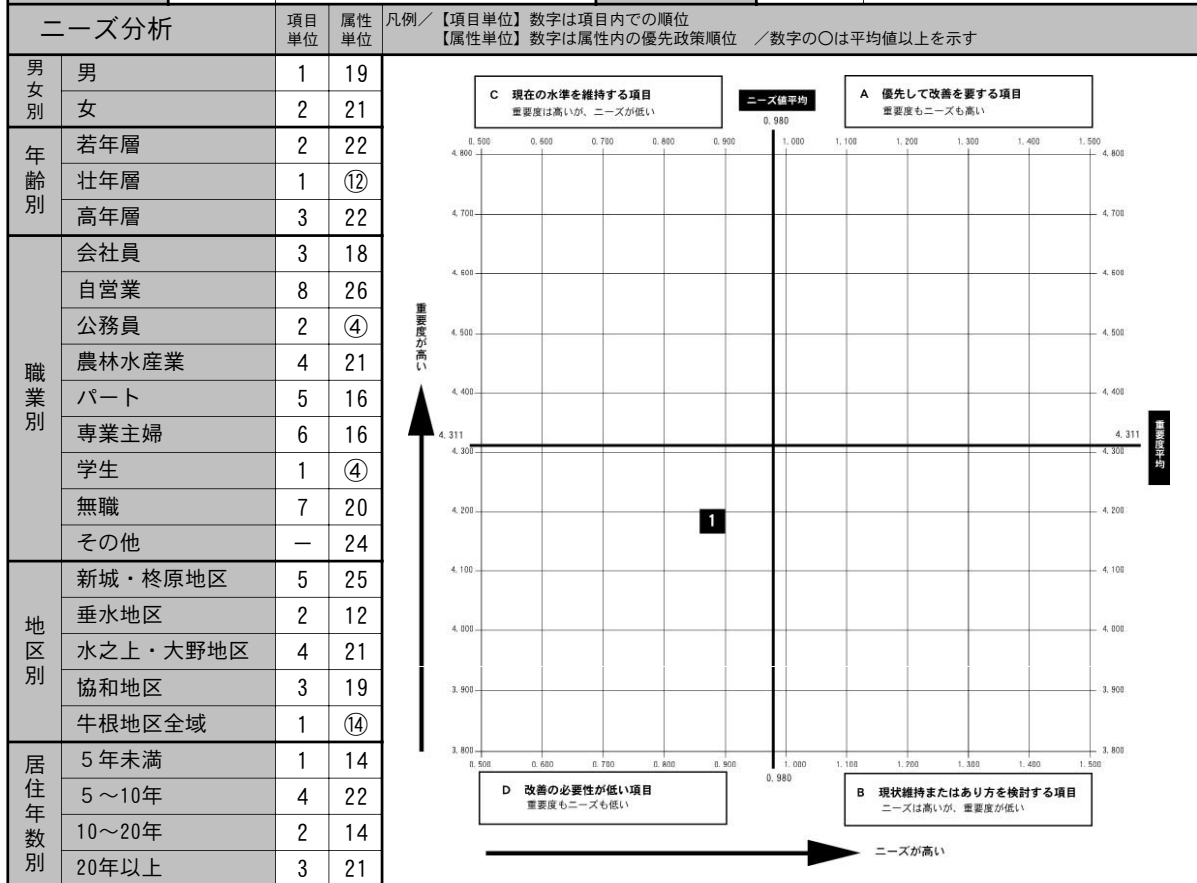
【政策の概要】

目標の考え方	共生・協働の社会を実現するために、全ての市民が手を取り合い、いきいきと暮らせる仕組みをつくり、地域住民の手により目指すべき地域の将来像を考える必要があります。個人と地域と行政とのそれぞれの役割を自覚しながら、地域住民による主体的な地域活動が行えるような取り組みを進めます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●共生・協働推進事業 ●地域振興計画策定事業 ●垂水市人権同和教育事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画関連事業 ●共生・協働の農村づくり運動事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.191	0.84	16	全体平均値：4.311
満足度	3.315	0.87	15	全体平均値：3.330
ニーズ値	0.876	—	21	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
------	----	---------------	-------	---	-------------



特記事項	●職業別は、公務員・学生の優先順位が高い傾向がある。
------	----------------------------

自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 29件／課題13件・要望2件・その他14件 ●キーワード：市民参画や地域連携に関する意見が多い。また分からないや理解していない等の意見も多い。
------	--

評価結果	●本市基本理念であり、また、まちづくりの基本的姿勢・考え方であるため、その周知に努めながら、当面、現状の取り組みを引き続き行う。
------	--

■政策別分析結果

2. 市民の多様な交流と連携の促進

【政策の概要】

目標の考え方	市民や各種団体、行政が持つ情報はそれぞれに価値があり、その情報がお互いで共有されれば、様々な課題の解決や地域の活性化につながることから、多様な交流と連携に対する取り組みを進めます。特に防災対策、高齢者の生活支援、生活環境の保全、子育て支援などに対して、地域や団体間の交流を深め、支えあい、連携しあう取り組みを進めます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿児島大学との包括連携協定関連事業 ● 地域イントラネット機器更新事業 ● ボランティア団体等活動支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動団体支援体制づくり事業 ● 振興会関連事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.251	0.81	13	全体平均値：4.311
満足度		3.316	0.89	14	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.935	—	16	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑭		
	女	2	19		
年齢別	若年層	2	12		
	壮年層	1	⑧		
	高年層	3	21		
職業別	会社員	3	⑫		
	自営業	5	22		
	公務員	1	⑤		
	農林水産業	6	24		
	パート	8	20		
	専業主婦	2	⑤		
	学生	4	13		
	無職	7	18		
その他	—	24			
地区別	新城・柘原地区	5	24		
	垂水地区	2	10		
	水之上・大野地区	3	16		
	協和地区	4	17		
	牛根地区全域	1	⑧		
居住年数別	5年未満	1	⑪		
	5～10年	3	⑨		
	10～20年	2	19		
	20年以上	4	16		
特記事項		●職業別ニーズ分析において、公務員・専業主婦の優先順位が高い。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 19件／課題10件・評価2件・要望2件・その他5件 ●キーワード：情報提供に関する意見が多い。 			
評価結果		●当面、現状の取り組みを引き続き行う。			

■政策別分析結果

3. 地域を支える人材の育成

【政策の概要】

目標の考え方	地域活動に気軽に参加できる環境づくりと、活動の中心となる地域活力の向上に必要な人材の発掘・育成に取り組みます。また、特色のある地域づくりのために、郷土をより深く学ぶ取り組みを進めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●人材育成事業 ●垂水市視聴覚ライブラリー事業 ●青少年ボランティア推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.220	0.84	14	全体平均値：4.311
満足度		3.283	0.87	20	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.936	—	15	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑬		
	女	2	16		
年齢別	若年層	2	19		
	壮年層	1	⑫		
	高年層	3	19		
職業別	会社員	3	⑩		
	自営業	2	⑤		
	公務員	1	⑦		
	農林水産業	6	17		
	パート	8	22		
	専業主婦	4	⑦		
	学生	5	13		
	無職	7	23		
	その他	—	16		
地区別	新城・柘原地区	5	23		
	垂水地区	3	11		
	水之上・大野地区	2	15		
	協和地区	4	22		
	牛根地区全域	1	④		
居住年数別	5年未満	1	⑨		
	5～10年	4	⑫		
	10～20年	2	21		
	20年以上	3	17		
特記事項		●地域別は、牛根地区全域の優先順位が他地区と比較し高い傾向がある。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 18件／課題12件・評価1件・要望3件・その他2件 ●キーワード：参加のあり方、情報提供に関する意見が多い。 			
評価結果		<ul style="list-style-type: none"> ●当面、現状の取り組みを引き続き行う。 ●牛根地区全域に対するニーズがあるため、検討を行う。 			

■政策別分析結果

4. 子育て支援体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の恵まれた自然や歴史・文化の中で、心身ともに健全な子どもとして育つため、そして心豊かな人間性を持った次世代の親として育つためには、子どもだけでなく、親や家族とともに育っていきける環境づくりを進めるとともに、地域の果たす役割も大きいという認識のもと、地域や職場など社会が一体となって子育てを支援していくよう取り組みます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 母子保健事業 ● スクールガード事業 ● 青少年健全育成事業 ● 児童虐待防止対策事業 ● 特別保育対策事業 ● P T A ・子ども会等活動支援事業 ● 子育てに関する経済的支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.599	0.69	4	全体平均値：4.311
満足度		3.336	0.97	12	全体平均値：3.330
ニーズ値		1.263	—	3	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	③	<p>C 現在の水準を維持する項目 重要度は高いが、ニーズが低い</p> <p>A 優先して改善を要する項目 重要度もニーズも高い</p> <p>D 改善の必要性が低い項目 重要度もニーズも低い</p> <p>B 現状維持またはあり方を検討する項目 ニーズは高いが、重要度が低い</p>	
男女別	女	2	③		
年齢別	若年層	1	③		
	壮年層	2	③		
	高年層	3	②		
職業別	会社員	1	④		
	自営業	5	④		
	公務員	3	③		
	農林水産業	4	③		
	パート	6	③		
	専業主婦	7	⑥		
	学生	2	⑥		
	無職	8	④		
その他	—	⑦			
地区別	新城・柘原地区	2	②		
	垂水地区	3	③		
	水之上・大野地区	1	⑤		
	協和地区	5	⑧		
	牛根地区全域	4	⑤		
居住年数別	5年未満	1	③		
	5～10年	4	⑦		
	10～20年	2	④		
	20年以上	3	③		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度が全体の4位、ニーズ値が全体の3位である。 ●ニーズ分析は、すべての階層で平均値以上を示す。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 22件／課題8件・要望11件・その他3件 ●キーワード：子育てサービス、子育て環境への要望が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズが高いことから、満足度を高める取り組みを優先して行う。 				

■政策別分析結果

5. 学校教育の充実

【政策の概要】

目標の考え方	自ら学び自ら考える、たくましく「生きる力」を備えた、子どもを育てるために、教職員一人一人の資質の向上を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進します。その中で、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について地域の人材を活かしながら体験を通して学習し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」を育成するとともに、垂水の次代を担う子どもたちが生き生きと学べる良好な教育環境の確保に取り組みます
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●垂水高校振興対策事業 ●教職員住宅管理整備事業 ●学校管理事業 ●小学校施設整備事業 ●中学校施設整備事業 ●学校統廃合事務事業 ●特別支援教育特別支援員事業 ●垂水市セカンドスクール事業 ●奨学資金運営事業 ●理科教育推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.474	0.76	7	全体平均値：4.311
満足度		3.295	0.94	18	全体平均値：3.330
ニーズ値		1.179	—	4	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	④		
	女	2	④		
年齢別	若年層	1	⑤		
	壮年層	2	⑥		
	高年層	3	④		
職業別	会社員	3	⑧		
	自営業	2	②		
	公務員	6	⑩		
	農林水産業	7	⑬		
	パート	5	④		
	専業主婦	4	③		
	学生	1	⑥		
	無職	8	⑤		
	その他	—	⑦		
地区別	新城・柘原地区	5	④		
	垂水地区	1	④		
	水之上・大野地区	4	⑫		
	協和地区	3	⑦		
居住年数別	5年未満	2	⑤		
	5～10年	3	④		
	10～20年	1	③		
	20年以上	4	⑥		
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●重要度が全体の7位、ニーズ値が全体の4位であるが、満足度が18位と低い。 ●職業別は、自営業の優先順位が高い傾向を示す。 			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 26件／課題11件・評価4件・要望11件 ●キーワード：課題、要望とも統廃合に関する意見が多い。 			
評価結果		●ニーズ値が高く、満足度が低いことから、満足度の向上を図るための改善を優先して行う。			

【政策の概要】

目標の考え方	多様化・高度化する学習ニーズに対応し、市民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現など、学びあう社会づくりに取り組みます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●自然学校設立準備事業 ●市民館・地区公民館運営管理事業 ●市立図書館運営事業 ●生涯学習事業 ●体育施設管理運営事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●錦江湾シーカヤック大会 ●体育関係団体等支援事業 ●学校体育施設開放事業 ●コミュニティスポーツ教室 ●総合型地域スポーツクラブ事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.128	0.82	23	全体平均値：4.311
満足度		3.415	0.83	7	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.713	—	25	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	25		
	女	2	25		
年齢別	若年層	2	25		
	壮年層	1	25		
	高年層	3	25		
職業別	会社員	2	19		
	自営業	1	21		
	公務員	4	25		
	農林水産業	3	26		
	パート	6	25		
	専業主婦	5	26		
	学生	7	22		
	無職	8	25		
	その他	—	23		
地区別	新城・柁原地区	5	26		
	垂水地区	1	23		
	水之上・大野地区	4	26		
	協和地区	2	26		
	牛根地区全域	3	25		
居住年数別	5年未満	2	26		
	5～10年	4	18		
	10～20年	1	25		
	20年以上	3	25		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズ値が全体の25位、満足度は全体の7位である。 ●ニーズ分析は、すべての階層で優先順位が低い傾向を示す。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 17件／課題6件・評価3件・要望7件・その他1件 ●キーワード：危機管理等安全面に関する意見が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●満足度が比較的高いため、ニーズ値も低い結果となった。これは、現在の取り組みに対する一定の評価と思われる。このため、特に改善の必要はなく、現状の取り組みを継続していく。 				

【政策の概要】

目標の考え方	古くから伝わる歴史民俗文化財や埋蔵文化財、また、郷土の偉人が残した功績は市民共有の財産であり歴史教育の教材です。これらを保存・活用・顕彰することや文化団体の支援、芸術家の育成、良質の芸術文化を提供するなど多様な文化活動を促進することにより郷土愛を育み、ゆとりと活力のある豊かな地域社会の実現を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール ●指定文化財・埋蔵文化財事業 ●文化振興事業 ●文化会館管理運営事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.053	0.90	26	全体平均値：4.311
満足度		3.514	0.86	4	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.539	—	27	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	27		
	女	2	27		
年齢別	若年層	2	27		
	壮年層	1	27		
	高年層	3	27		
職業別	会社員	4	26		
	自営業	2	27		
	公務員	3	26		
	農林水産業	1	25		
	パート	6	27		
	専業主婦	7	27		
	学生	8	27		
	無職	5	27		
	その他	—	27		
地区別	新城・柘原地区	5	27		
	垂水地区	1	27		
	水之上・大野地区	2	27		
	協和地区	3	27		
	牛根地区全域	4	27		
居住年数別	5年未満	1	27		
	5～10年	4	26		
	10～20年	3	27		
	20年以上	2	27		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズ値が全体の27位、満足度は全体の4位である。 ●ニーズ分析は、すべてのカテゴリ・階層で優先順位が低い傾向を示す。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 19件／課題10件・評価1件・要望7件・その他1件 ●キーワード：瀬戸コンに関する要望が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●満足度が比較的高いため、ニーズ値も低い結果となった。これは、現在の取り組みに対する一定の評価と思われる。このため、特に改善の必要はなく、現状の取り組みを継続していく。 				

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して暮らしていくために、生涯を通じた生活習慣病予防やがん予防など、保健事業の推進と保健医療活動の充実に取り組みます。また、生きがいを持つことが健康づくりにつながることから、地域における健康づくり活動や生きがいづくり支援を行い、広く市民の健康増進に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診・特定保健指導事業 ●健康増進事業 ●感染症予防事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.586	0.64	5	全体平均値：4.311
満足度		3.742	0.95	1	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.844	—	22	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	23		
	女	2	20		
年齢別	若年層	1	17		
	壮年層	2	16		
	高年層	3	24		
職業別	会社員	3	17		
	自営業	2	⑩		
	公務員	6	24		
	農林水産業	1	⑩		
	パート	5	12		
	専業主婦	7	22		
	学生	4	13		
	無職	8	24		
その他	—	22			
地区別	新城・柘原地区	4	22		
	垂水地区	2	20		
	水之上・大野地区	5	23		
	協和地区	3	24		
	牛根地区全域	1	⑬		
居住年数別	5年未満	2	19		
	5～10年	4	27		
	10～20年	1	⑪		
	20年以上	3	22		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度は全体の5位、満足度は全体の1位である。 ●地区別は、牛根地区全域の優先順位が高い傾向がある。 ●職業別は、自営業・農林水産業の優先順位が他業種等と比較し若干高い。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 12件／課題8件・評価3件・要望1件 ●キーワード：政策の考え方に対する意見が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度、満足度とも高く、ニーズ値が低いことから、現在の取り組みに対して一定の高い評価があると思われる。このため、現在の水準を維持していくよう継続して取り組みを進める。 				

【政策の概要】

目標の考え方	高齢者の充実した生活の創造を目指し、生涯現役社会づくりの推進や生活環境の向上に努めるとともに、総合相談体制を充実し、関係機関と連携を密にしながら認知症予防や権利擁護など推進します。また、地域に密着した介護サービスの基盤整備を図り、住み慣れた地域で高齢者が尊厳を持ち、暮らせる地域ケア体制づくりに努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険事業 ●在宅福祉事業 ●垂水市シルバー人材センター補助事業 ●老人保護措置事業 ●地域支援事業 ●垂水市社会福祉協議会補助事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.607	0.65	3	全体平均値：4.311
満足度		3.465	0.93	6	全体平均値：3.330
ニーズ値		1.142	—	6	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑥		
	女	2	⑤		
年齢別	若年層	2	⑦		
	壮年層	1	④		
	高年層	3	⑤		
職業別	会社員	2	③		
	自営業	4	⑨		
	公務員	5	⑬		
	農林水産業	3	②		
	パート	6	⑦		
	専業主婦	7	⑬		
	学生	1	②		
	無職	8	⑨		
	その他	—	⑩		
地区別	新城・柘原地区	4	⑧		
	垂水地区	3	⑤		
	水之上・大野地区	2	⑥		
	協和地区	5	⑬		
	牛根地区全域	1	①		
居住年数別	5年未満	2	15		
	5～10年	4	17		
	10～20年	1	②		
	20年以上	3	⑤		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度が全体3位、満足度・ニーズ値が全体6位である。 ●ニーズ分析はほぼ全てのカテゴリで優先順位が高い傾向を示し、特に牛根地区全域では1位である。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 21件／課題7件・評価5件・要望6件・その他3件 ●キーワード：政策の考え方に対する意見が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度、満足度、ニーズ値が高いことから、より満足度の向上が図れるよう改善を行う。 				

【政策の概要】

目標の考え方	障害者があらゆる分野での社会参加が実現出来ることを基本とし、障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に権利と義務を、能力に応じて補い合い、助け合って生きていく地域社会をつくる「ノーマライゼーション」と、障害者の身体的・精神的・社会的な適応能力を回復することにとどまらず、障害者がそれぞれの年代のあらゆる生活段階において、人間らしく生きる権利の回復を図る「リハビリテーション」の理念を具現化していき、全ての市民が生き生きとした生活を送り、共に生き、支え合う社会づくりに取り組みます。
主な取組	●障害児に対する支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.408	0.74	11	全体平均値：4.311
満足度		3.343	0.85	11	全体平均値：3.330
ニーズ値		1.065	—	8	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑨		
	女	2	⑧		
年齢別	若年層	1	⑥		
	壮年層	2	⑦		
	高年層	3	⑩		
職業別	会社員	2	⑦		
	自営業	3	15		
	公務員	5	16		
	農林水産業	4	15		
	パート	7	⑨		
	専業主婦	8	⑭		
	学生	1	①		
	無職	6	⑥		
	その他	—	⑩		
地区別	新城・柘原地区	5	17		
	垂水地区	2	⑥		
	水之上・大野地区	1	⑩		
	協和地区	4	15		
	牛根地区全域	3	⑨		
居住年数別	5年未満	2	⑦		
	5～10年	4	14		
	10～20年	1	⑤		
	20年以上	3	⑧		
特記事項	●職業別は、学生の優先順位が1位である。				
自由意見	●自由意見記入件数 16件／課題8件・評価2件・要望3件・その他3件 ●キーワード：政策の考え方に関する意見が多い。				
評価結果	●評価エリアは、Aとなっているが、重要度・満足度の数値から一定の評価があると思われるため、現状の取り組みを継続していく。				

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して医療を受けることができるよう、垂水中央病院を核に医師会等との連携を図り、救急医療体制等を構築し、地域医療の確保と医療水準の向上に取り組みます。また、垂水中央病院が中核病院として地域住民に対する24時間体制の医療を提供すること及び保健・医療・福祉の連携により地域住民の健康増進に取り組みます。	
主な取組	●医療対策事業	●垂水中央病院管理運営事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.752	0.53	1	全体平均値：4.311
満足度		3.371	1.17	9	全体平均値：3.330
ニーズ値		1.382	—	2	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	2	②		
	女	1	②		
年齢別	若年層	1	①		
	壮年層	2	②		
	高年層	3	⑦		
職業別	会社員	1	②		
	自営業	8	19		
	公務員	2	②		
	農林水産業	6	⑤		
	パート	3	①		
	専業主婦	5	②		
	学生	4	④		
	無職	7	⑦		
	その他	—	①		
地区別	新城・柘原地区	5	③		
	垂水地区	2	②		
	水之上・大野地区	1	②		
	協和地区	3	②		
	牛根地区全域	4	②		
居住年数別	5年未満	2	②		
	5～10年	2	①		
	10～20年	1	①		
	20年以上	4	②		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度が全体の1位、ニーズ値が全体の2位である。 ●年齢別・地区別は、すべての階層で高い優先順位を示している ●職業別は、自営業の優先順位が、他と比較し極端に低い傾向を示している。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 31件／課題24件・評価1件・要望6件 ※全体的に意見記入件数が多い。 ●キーワード：垂水中央病院と医療体制に対する課題が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●全体の重要度が非常に高く、ニーズ値も高いことから、不満と回答した層の解消を図るような改善を優先して進めていく。 				

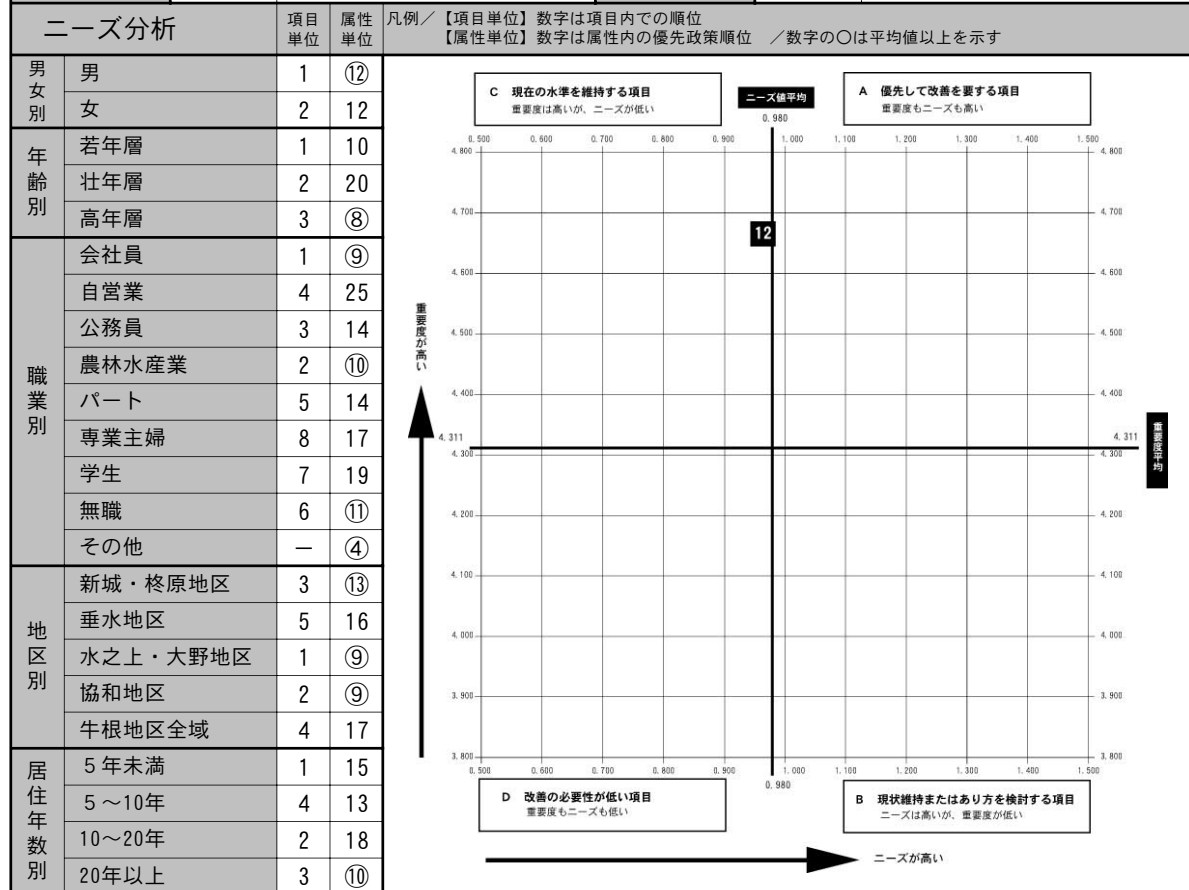
【政策の概要】

目標の考え方	自然災害から市民の生命と財産を守るため、垂水市地域防災計画に基づき、災害の予防、応急対策、復旧・復興対策を進めます。また、大規模な災害に対処するためには、防災関係機関による「公助」だけでなく、自分の身は自分で守る「自助」、地域のことは地域で守る「共助」が重要なことから、地域の防災力の向上に努めるとともに、災害情報の収集や伝達、また、災害時要援護者に配慮した対策に取り組めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制整備事業 ●情報収集体制整備事業 ●自主防災組織育成事業 ●防災情報提供体制整備事業 ●指定避難所環境整備事業 ●桜島火山対策事業 ●農村災害対策整備事業 ●治山事業 ●急傾斜崩壊対策事業 ●砂防事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度	4.678	0.61	2	全体平均値：4.311
満足度	3.711	0.92	2	全体平均値：3.330
ニーズ値	0.967	—	11	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	--------------	-------	---	--------------



特記事項	●重要度・満足度が全体の2位である。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 19件／課題11件・要望5件・その他2件 ●キーワード：防災情報に対する意見が多い。
評価結果	●重要度、満足度も高く、ニーズ値も平均に近いことから、現在の取り組みに対して一定の評価があると思われる。このため、現在の水準を維持するよう取り組む。

【政策の概要】

目標の考え方	犯罪のない、安全で安心して生活できるまちづくりを進めるために、協働による地域ぐるみの防犯活動の推進、消防機能や各種市民相談体制の充実など、安全で安心して生活できるまちづくりに取り組みます。特に、高齢者に関わる犯罪や事故を未然に防止するため、高齢者を取り巻く社会環境の整備などに取り組みます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全関連事業 ●相談関連事業 ●生活衛生苦情処理事業 ●墓地理葬法関係事業 ●交通安全対策事業 ●消防本部及び消防団車両整備事業 ●消防本部及び消防団庁舎等整備事業 ●消防本部及び消防団施設設備整備事業 ●消防用ホース整備事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.543	0.69	6	全体平均値：4.311
満足度	3.629	0.89	3	全体平均値：3.330
ニーズ値	0.914	—	18	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●満足度が全体の3位であるため、ニーズ値は18位である。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 16件／課題11件・評価1件・要望2件・その他2件 ●キーワード：施設・環境整備に関する意見が多い。
評価結果	●満足度が高く、ニーズ値も比較的低いことから、現在の取り組みに対して一定の評価があると思われる。このため、現在の水準を維持するよう取り組む。

【政策の概要】

目標の考え方	道路や住宅、公園などの都市基盤は、市民が快適な生活を営むとともに、経済活動や交流の活性化など、都市の発展の礎となる重要な役割を果たすものです。都市の発展の基本となる道路・交通体系などの基盤整備と市民生活に密着した居住環境の整備を進める必要があります。このような都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランを策定し、効率的・計画的な都市基盤の整備に努めます。また、水道は市民生活における重要なライフラインのひとつであり、経済活動や社会的な活動を支える非常に大切な施設でもあります。今後も市民の皆様には「安心」な水を「安定」して「継続」的に供給できるよう努めていきます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●総合交通対策事業 ●集落水道維持管理事業 ●地籍調査事業 ●公営住宅維持管理事業 ●市道等整備及び道路維持事業 ●公園等管理事業 ●降灰除去事業 ●港湾事業 ●河川等環境整備事業 ●原水及び浄水設備事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.425	0.75	9	全体平均値：4.311
満足度	3.475	0.96	5	全体平均値：3.330
ニーズ値	0.950	—	12	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C 現在の水準を維持する項目

ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す
男女別	男	2	22	
	女	1	⑩	
年齢別	若年層	1	15	
	壮年層	2	19	
	高年層	3	⑨	
職業別	会社員	5	21	
	自営業	2	18	
	公務員	4	20	
	農林水産業	3	16	
	パート	7	11	
	専業主婦	1	⑨	
	学生	8	21	
	無職	6	⑩	
地区別	新城・柘原地区	3	16	
	垂水地区	4	18	
	水之上・大野地区	2	13	
	協和地区	1	⑥	
	牛根地区全域	5	18	
居住年数別	5年未満	1	⑦	
	5～10年	2	⑧	
	10～20年	3	23	
	20年以上	4	13	

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●男女別は、女性の優先順位が男性と比較し高い傾向を示す。 ●年齢別は、高年層の優先順位が高い傾向を示す。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 20件／課題9件・評価3件・要望7件・その他1件 ●キーワード：様々なインフラ整備に対する意見があった。
評価結果	●満足度が高く、ニーズ値も平均値に近いことから、現在の取り組みに対して一定の評価があると思われる。このため、現在の水準を維持していくよう取り組む。

【政策の概要】

目標の考え方	地球規模の温暖化に対して、特に温暖化の最たる要因である温室効果ガス削減が重要な課題です。本市においては、廃棄物の26分別収集や新エネルギーに対する取り組みを進めています。より一層の成果を上げるためにも、地域省エネルギー政策、新エネルギー政策の充実と3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの循環型社会構築に対して、市民総ぐるみで理解を深め、行動していただけるよう取り組みます。 ※3R=Reduce/リデュース：廃棄物の発生抑制・Reuse/リユース：再使用・Recycle/リサイクル：再資源化
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●垂水市さわやか環境づくり懇話会 ●垂水市地球温暖化防止実行計画推進事業 ●一般廃棄物処理事業 ●地域バイオマス事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.353	0.82	12	全体平均値：4.311
満足度		3.408	0.95	8	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.946	—	14	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑪		
	女	2	18		
年齢別	若年層	1	15		
	壮年層	2	17		
	高年層	3	⑬		
職業別	会社員	2	13		
	自営業	5	23		
	公務員	8	27		
	農林水産業	4	17		
	パート	7	24		
	専業主婦	3	⑩		
	学生	1	⑩		
	無職	6	⑧		
	その他	—	⑭		
地区別	新城・柘原地区	3	⑭		
	垂水地区	5	21		
	水之上・大野地区	1	⑪		
	協和地区	4	14		
	牛根地区全域	2	⑫		
居住年数別	5年未満	2	15		
	5～10年	4	25		
	10～20年	1	⑨		
	20年以上	3	15		
特記事項		●全体として大きな差異は見られない			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 19件／課題12件・評価5件・要望2 ●キーワード：政策の考え方に関する課題が多い。 			
評価結果		●重要度、満足度及びニーズ値とも平均値付近であることから、現在の水準を維持するよう取り組むが、本市の基本理念の一つであるため、その周知を図るなど重要度を高める取り組みを行う。			

【政策の概要】

目標の考え方	次世代へ環境を引き継いでいくために環境美化意識の向上や河川や海の水質環境保全に努め、水質保全などに取り組みます。また、桜島、錦江湾、高隈山系などの自然景観や田園風景さらには市街地や歴史的町並みなどの景観の保全と創造に向けて、市民や事業者と一体となった垂水にしかない景観形成に取り組みます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●景観保全政策事業 ●ごみの不法投棄防止等事業 ●公害関係事業 ●垂水市最終処分場廃止事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●錦江湾クリーンアップ作戦事業 ●環境基本計画策定事業 ●家庭排水浄化推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.451	0.72	8	全体平均値：4.311
満足度		3.367	0.95	10	全体平均値：3.330
ニーズ値		1.084	—	7	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑦		
	女	2	⑦		
年齢別	若年層	2	18		
	壮年層	1	⑤		
	高年層	3	⑥		
職業別	会社員	3	⑪		
	自営業	6	20		
	公務員	7	22		
	農林水産業	2	⑩		
	パート	4	⑤		
	専業主婦	1	④		
	学生	8	24		
	無職	5	③		
	その他	—	⑥		
地区別	新城・柘原地区	4	⑨		
	垂水地区	3	⑧		
	水之上・大野地区	1	⑦		
	協和地区	2	③		
	牛根地区全域	5	19		
居住年数別	5年未満	1	④		
	5～10年	4	⑪		
	10～20年	2	⑨		
	20年以上	3	⑦		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●年齢別は、高年・壮年層の優先順位が若年層と比較し高い傾向がある。 ●職業別は、専業主婦・パート・無職の優先順位が高い傾向がある。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 21件／課題17件・要望4件 ●キーワード：政策の考え方に関する課題が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度、満足度、ニーズ値が高いことから、より満足度を高めるよう優先して改善を行う。 				

【政策の概要】

目標の考え方	豊かな自然環境、景観、温泉、農水産物や歴史、文化など垂水市の持つ優れた地域資源を最大限に活用した観光や産業の振興に取り組みます。また、行政と市民と事業者が一体となって育むブランド化に取り組み、本市の価値を創造し、積極的に広く内外へ情報発信していく取り組みを進めます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●農村女性活動支援事業 ●地域資源活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●食と農交流推進事業 ●宮脇公園整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.122	0.83	24	全体平均値：4.311
満足度		3.323	0.79	13	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.799	—	24	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	24		
	女	2	23		
年齢別	若年層	2	23		
	壮年層	1	22		
	高年層	3	23		
職業別	会社員	4	25		
	自営業	2	17		
	公務員	1	15		
	農林水産業	3	22		
	パート	5	18		
	専業主婦	7	25		
	学生	8	24		
	無職	6	22		
	その他	—	15		
地区別	新城・柘原地区	3	18		
	垂水地区	4	24		
	水之上・大野地区	1	20		
	協和地区	5	25		
	牛根地区全域	2	21		
居住年数別	5年未満	1	24		
	5～10年	4	20		
	10～20年	2	24		
	20年以上	3	23		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度・ニーズ値が全体の24位で低い。 ●ニーズ分析は、すべてのカテゴリで優先順位が低い傾向が見られる。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 15件／課題8件・評価4件・要望2件・その他1件 ●キーワード：政策の考え方に関する課題が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●本市基本理念の一つであることから、その周知を図るなど重要度を高めるための取り組みを進めていく。 				

【政策の概要】

目標の考え方	生産・生活基盤の整備をはじめ、経営の安定や環境にやさしい農業の推進など、特色ある農業の展開を図るとともに、担い手育成に努めます。また、消費者ニーズの把握に努めながら、地域の特性を生かした特産品や加工品の開発を促進するとともに、流通ルートの創出に取り組みます。さらに、特産品直売施設の整備や地産地消の推進に努めます。林業については、森林と人との共生の観点に立った森林の保全利用を図ります。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●農家経営安定対策事業 ●新規就農者支援事業 ●農業振興地域整備計画 ●垂水市堆肥センター管理運営 ●資源リサイクル畜産環境整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●松くい虫対策事業 ●有害鳥獣捕獲事業 ●間伐実施事業 ●森林整備地域活動支援事業 ●中山間地域総合整備事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.194	0.82	15	全体平均値：4.311
満足度	3.310	0.80	16	全体平均値：3.330
ニーズ値	0.883	—	20	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目



特記事項	●職業別は、農林水産業・自営業の優先順位が高い傾向がある。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 6件／課題4件・要望1件・その他1件 ●キーワード：他政策と比較し意見が極端に少ない。
評価結果	●現在の取り組みに対して一定の評価があると思われ、引き続き満足度の向上を図るよう取り組みを進める。

【政策の概要】

目標の考え方	水産業の振興を図るために、漁業生産の基盤となる漁港・漁場環境の整備を進めます。また、消費者ニーズの把握に努めるとともに、地産地消の推進や水産物のブランド化による新たな販売ルートの確保など、経営安定化と後継者の育成に努めます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●海面環境保全事業 ●海潟漁港広域漁港整備事業 ●牛根麓漁港広域漁港整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●垂水南漁港地域水産基盤整備事業 ●地元水産物販売促進事業 ●種苗放流事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.131	0.85	22	全体平均値：4.311
満足度		3.298	0.82	17	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.833	—	23	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	21		
	女	2	24		
年齢別	若年層	2	24		
	壮年層	1	23		
	高年層	3	17		
職業別	会社員	3	22		
	自営業	2	24		
	公務員	5	23		
	農林水産業	1	⑦		
	パート	7	25		
	専業主婦	6	24		
	学生	8	26		
	無職	4	⑬		
その他	—	20			
地区別	新城・柘原地区	4	21		
	垂水地区	5	25		
	水之上・大野地区	2	18		
	協和地区	1	⑤		
	牛根地区全域	3	23		
居住年数別	5年未満	1	⑬		
	5～10年	4	22		
	10～20年	2	15		
	20年以上	3	24		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●職業別は、農林水産業の優先順位が高い傾向がある。 ●地区別は、協和地区の優先順位が高い傾向がある。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 17件／課題9件・評価3件・要望4件・その他1件 ●キーワード：環境保全に関する意見が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の取り組みに対して一定の評価があると思われ、引き続き満足度の向上を図るよう取り組みを進める。 				

【政策の概要】

目標の考え方	市民の日常的な利便性の確保を図ることを基本に、垂水にあった商業のあり方やサービスを展開し、多様化・高度化する消費者ニーズに対応できる商業の育成や振興に取り組みます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●経営改善普及事業 ●商工関連イベント支援事業 ●スポーツ合宿誘致事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●道の駅整備事業 ●商業活性化事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.107	0.87	25	全体平均値：4.311
満足度		3.159	0.84	23	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.948	—	13	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	16		
	女	2	11		
年齢別	若年層	2	14		
	壮年層	1	14		
	高年層	3	15		
職業別	会社員	2	15		
	自営業	1	③		
	公務員	3	17		
	農林水産業	5	17		
	パート	6	17		
	専業主婦	3	⑫		
	学生	7	17		
	無職	8	19		
	その他	—	⑫		
地区別	新城・柘原地区	3	⑪		
	垂水地区	4	14		
	水之上・大野地区	2	14		
	協和地区	5	21		
	牛根地区全域	1	⑩		
居住年数別	5年未満	3	25		
	5～10年	2	⑨		
	10～20年	1	20		
	20年以上	4	⑨		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●職業別は、自営業の優先順位が高い傾向がある。 ●地区別は、中央地区より離れている牛根地区全域、新城・柘原地区の優先順位が高い傾向がある。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 13件／課題9件・要望4件 ●キーワード：政策の考え方に関する意見が多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度、満足度が低く、ニーズ値も高くないことから、評価エリアはDとなっているが、満足度の向上を図るための改善を進めていく。 				

【政策の概要】

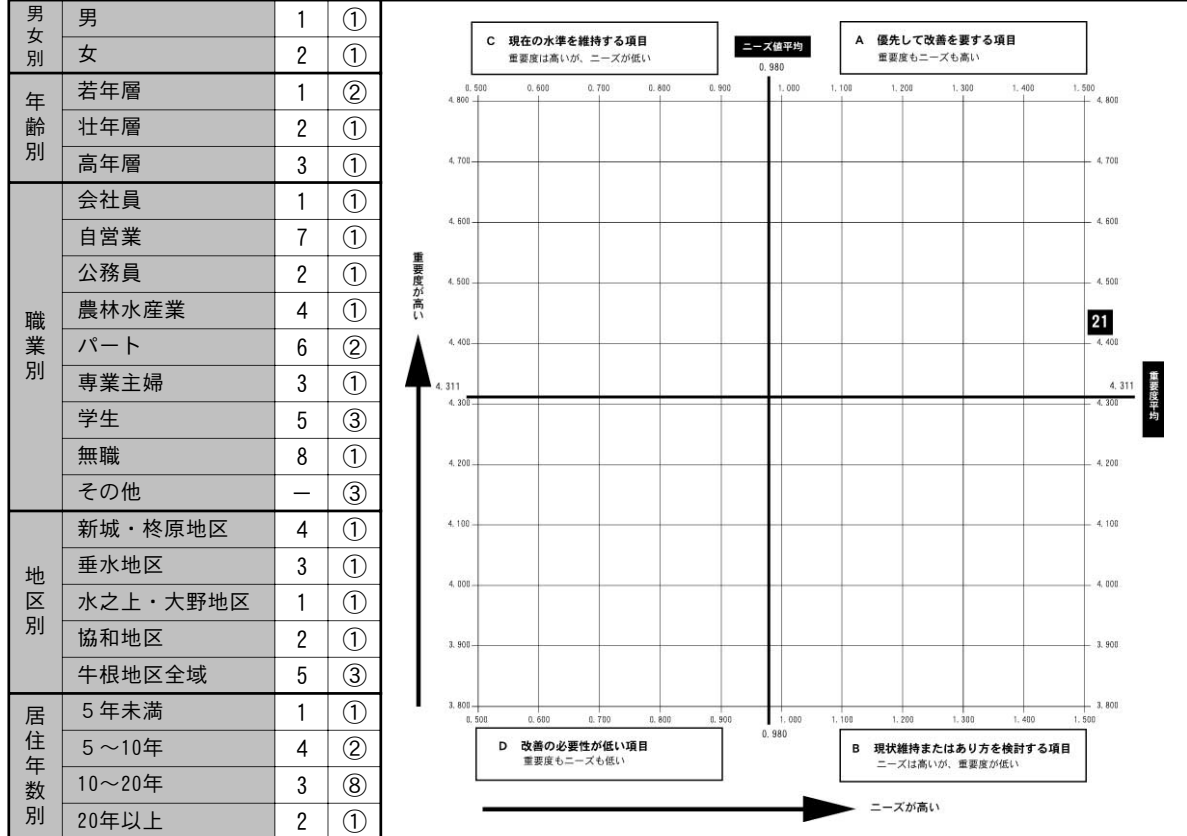
目標の考え方	既存の産業の振興に努めながら、コミュニティビジネス等の新たな産業の育成や、時代のニーズに合った新たな起業家の育成に取り組みます。また、企業誘致や創業支援による働く場の確保を行います。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用推進事業 ●既存産業の振興 ●異業種交流 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致 ●新たな産業の創出

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.423	0.79	10	全体平均値：4.311
満足度	2.825	0.98	27	全体平均値：3.330
ニーズ値	1.598	—	1	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	----	------------------	-------	---	--------------

ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例
				【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す



特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●満足度が極端に低く最下位であることから、ニーズ値は全体の1位である。 ●ニーズ分析は、ほぼすべてのカテゴリで優先順位が3位以内である。
------	---

自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 16件／課題9件・要望6件・その他1件 ●キーワード：雇用環境に関する意見が多い。
------	--

評価結果	●ニーズ値が極端に高く、また、満足度が非常に低いことから、最優先して改善を図るよう取り組みを行う。
------	---

【政策の概要】

目標の考え方	垂水市の持つ観光拠点の整備開発を進め、年間を通じて市民や観光客が楽しめる魅力ある観光地づくりや観光情報の発信に取り組みます。また、観光推進体制の確立を図り、大隅半島の玄関口という地理的特性を生かした広域観光への取り組みに努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●サイクリングロード整備事業 ●猿ヶ城溪谷総合整備事業 ●高峠公園整備事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.136	0.88	21	全体平均値：4.311
満足度	3.111	0.92	25	全体平均値：3.330
ニーズ値	1.025	—	9	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B 現状維持またはあり方を検討する項目



特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●男女別は、女性の優先順位が男性と比較し高い傾向がある。 ●地区別は、猿ヶ城や高峠のある水之上・大野地区の優先順位が高い傾向がある。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 20件／課題15件・要望5件 ●キーワード：観光拠点、施設整備に関する意見が多い。
評価結果	●満足度が低くニーズ値が高いため、満足度の向上が図れるよう改善を行う。

【政策の概要】

目標の考え方	協働によるまちづくりの実現に向けて、市政の様々な場面で市民の参加と参画機会を十分に提供するとともに、市民と行政や議会との適切な役割分担のもと、相互の信頼関係が構築され、相互に支えあう協働の行政経営に取り組みます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●第4次垂水市総合計画関連事業 ●自治基本条例制定事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		3.835	0.92	27	全体平均値：4.311
満足度		3.133	0.71	24	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.702	—	26	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	26		
	女	2	26		
年齢別	若年層	2	26		
	壮年層	1	26		
	高年層	3	26		
職業別	会社員	7	27		
	自営業	2	16		
	公務員	1	⑨		
	農林水産業	4	27		
	パート	5	23		
	専業主婦	3	23		
	学生	6	22		
	無職	8	26		
	その他	—	26		
地区別	新城・柘原地区	1	19		
	垂水地区	4	26		
	水之上・大野地区	3	25		
	協和地区	2	23		
	牛根地区全域	5	26		
居住年数別	5年未満	1	23		
	5～10年	4	21		
	10～20年	2	26		
	20年以上	3	26		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●重要度、満足度、ニーズ値が全体的に低い。 ●ニーズ分析は、すべてのカテゴリで優先順位が低い傾向がある。ただし、職業別の公務員のみ高い優先順位である。 				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 9件／課題5件・要望1件・その他3件 ※意見記入件数が少ない。 ●キーワード：情報提供に関する意見が多い。また、分からないも多い。 				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての項目において低い数値であるが、本市基本理念の一つであることから、まずは、本政策の周知を図るなど重要度を高めるための取り組みを行う。 				

【政策の概要】

目標の考え方	市民の目線に立ち、積極的で分かりやすい情報提供をするとともに市民ニーズを的確に把握し、真に必要とされるサービスの提供を行います。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●広聴事業 ●分かりやすく、必要な情報の提供関連事業 ●広報事業 ●定住促進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.183	0.86	17	全体平均値：4.311
満足度		3.294	0.87	19	全体平均値：3.330
ニーズ値		0.889	—	19	全体平均値：0.980 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	18		
	女	2	15		
年齢別	若年層	1	⑨		
	壮年層	2	24		
	高年層	3	18		
職業別	会社員	6	24		
	自営業	2	⑦		
	公務員	3	⑪		
	農林水産業	4	14		
	パート	5	⑧		
	専業主婦	8	20		
	学生	1	⑧		
	無職	7	21		
	その他	—	21		
地区別	新城・柘原地区	1	⑥		
	垂水地区	5	22		
	水之上・大野地区	4	22		
	協和地区	3	11		
	牛根地区全域	2	⑮		
居住年数別	5年未満	3	22		
	5～10年	1	②		
	10～20年	2	17		
	20年以上	4	19		
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●年齢別は、若年層の優先順位が高い傾向がある。 ●地区別は、新城・柘原地区と牛根地区全域が平均値以上を示している。 			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 15件／課題10件・評価1件・要望2件・その他2件 ●キーワード：政策の考え方、広報に関する意見が多い。 			
評価結果		<ul style="list-style-type: none"> ●すべての項目で比較的数字が低く、評価エリアはDとなっているが、行政運営の基本的スタンスであることから、充実した取り組みを行い、満足度の向上が図れるよう改善を進めていく。 			

■政策別分析結果

25. 市民の期待に応える職員の育成

【政策の概要】

目標の考え方	住民ニーズはますます高度化、多様化しており、価値観やライフスタイルの多様化も顕著になっている現在、時代の変化に適應した新たな行政施策の展開が求められています。徹底した行政改革の推進、健全財政の維持、職員の定員管理についても適正化を進めてきており、最小の経費で最大の効果が上がるよう、さらに効率的な行政運営を進めていく必要があります。そのため、行政の担い手となる職員の意欲や姿勢の改革、職務能力の一層の向上を図り、組織としても積極的に人材育成の取組を強化していきます。
主な取組	●人事評価制度事業 ●職員研修事業 ●定員適正化事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.179	0.93	18	全体平均値：4.311
満足度	3.029	0.99	26	全体平均値：3.330
ニーズ値	1.150	—	5	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B 現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す	
男女別	男	1	⑤	
	女	2	⑥	
年齢別	若年層	1	④	
	壮年層	2	⑩	
	高年層	3	③	
職業別	会社員	2	⑥	
	自営業	7	12	
	公務員	8	20	
	農林水産業	1	⑥	
	パート	6	⑥	
	専業主婦	5	⑧	
	学生	3	⑪	
	無職	4	②	
	その他	—	②	
地区別	新城・柁原地区	5	⑤	
	垂水地区	4	⑦	
	水之上・大野地区	1	③	
	協和地区	2	④	
	牛根地区全域	3	⑦	
居住年数別	5年未満	3	18	
	5～10年	2	④	
	10～20年	1	⑦	
	20年以上	4	④	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●満足度が全体の26位で低いことから、ニーズ値が全体の5位である。 ●ニーズ分析は、ほぼ全てのカテゴリで高い傾向が見られる。 			
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 28件／課題23件・評価2件・要望3件 ※意見記入件数は多い。 ●キーワード：職員数や接遇に対する意見が多い。 			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ●満足度が低く、ニーズ値が高いことから、本政策の詳細なニーズ把握を行い、その対応や改善を図り、満足度向上の取り組みを行う。 			

【政策の概要】

目標の考え方	地方分権時代において、自治体としての自立と自己責任による行政経営が求められるとともに、市政の運営を担う行政には、将来にわたって、永続的に市民から信頼され、その負託に応えていくという大きな責務が課せられています。このため、行政改革大綱に基づき、「新しい公共」の形成を理念として、持続可能な財政基盤を確立するとともに、徹底した行政改革を推進することにより、市民や地域の力が最大限に発揮できる新しい形の行政経営を進めます。また、真の地方主権の確立に向けた権限の移譲を求め、国・県との対等な関係を構築するとともに、近隣市町との連携のもと広域的な行政課題の解決に取り組みます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●行政改革関連事業 ●大隅地区広域行政に関する事業 ●行政評価関連事業 ●基幹業務システム改修事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.140	0.87	20	全体平均値：4.311
満足度	3.208	0.79	21	全体平均値：3.330
ニーズ値	0.932	—	17	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
------	----	---------------	-------	---	-------------



特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●男女別は、男性の優先順位が高い傾向がある。 ●職業別は、公務員、農林水産業、自営業で優先順位が高い傾向がある。 ●地区別は、牛根地区全域、新城・柁原地区で優先順位が高い傾向がある。
------	---

自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 10件／課題9件・その他1件 ●キーワード：政策の考え方に関する意見が多い。
------	---

評価結果	●本政策の詳細なニーズ把握を行い、その対応や改善を図り、満足度向上の取り組みを行う。
------	--

【政策の概要】

目標の考え方	健全な財政基盤を確立するためには、財政の自由度を高めると共に、真に必要とされるサービスを選択することが重要です。このため、自らの責任において、財源を確保し、市民の納得度を高めていくという視点で必要とされる公共サービスを常に効果的・効率的かつ安定的に供給できるという持続可能な財政運営に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●財政運営健全化事業 ●公用車管理事業 ●徴収対策事業 ●財産管理事業 ●財政改革プログラム進行管理事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.164	0.89	19	全体平均値：4.311	
満足度		3.189	0.80	22	全体平均値：3.330	
ニーズ値		0.975	—	10	全体平均値：0.980 ※ニーズ値＝重要度－満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均値以上を示す		
男女別	男	1	⑩			
	女	2	13			
年齢別	若年層	2	11			
	壮年層	1	⑪			
	高年層	3	16			
職業別	会社員	4	14			
	自営業	5	13			
	公務員	3	⑪			
	農林水産業	2	④			
	パート	6	⑩			
	専業主婦	8	19			
	学生	1	⑧			
	無職	7	15			
	その他	—	⑨			
地区別	新城・柘原地区	2	⑫			
	垂水地区	4	15			
	水之上・大野地区	1	④			
	協和地区	3	10			
	牛根地区全域	5	22			
居住年数別	5年未満	1	⑫			
	5～10年	4	15			
	10～20年	2	⑬			
	20年以上	3	12			
特記事項	●全体として大きな差異は見られない					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 8件／課題7件・その他1件 ※意見記入件数が少ない。 ●キーワード：政策の考え方に関する意見が多い。 					
評価結果	●本政策の詳細なニーズ把握を行い、その対応や改善を図り、満足度向上の取り組みを行う。					

3. 第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析結果

重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	基本目標・重点目標	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価エリア
		平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差	平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差		重要度－満足度	相対順位	
	全回答（全体平均）	4.311				3.330					0.980		
◎基本目標別													
1	住民による住民のためのまちをつくる	4.274	-0.037	2	0.83	3.353	0.023	2	0.90	III	0.921	4	D
2	安心して暮らせるまちをつくる	4.572	0.261	1	0.68	3.534	0.204	1	0.97	I	1.038	1	A
3	環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	4.240	-0.071	3	0.84	3.226	-0.104	3	0.90	IV	1.014	2	B
4	市民を大切にするまちをつくる	4.100	-0.211	4	0.91	3.170	-0.160	4	0.84	IV	0.930	3	D
●重点目標別													
1-1	自立した地域をつくるために	4.220	-0.090	5	0.83	3.305	-0.026	5	0.88	IV	0.916	7	D
1-2	学びあえる地域をつくるために	4.314	0.004	3	0.83	3.390	0.060	3	0.91	I	0.924	6	A
2-1	生きがいを持ち、健康に暮らすために	4.589	0.278	1	0.66	3.480	0.150	2	0.99	I	1.109	1	A
2-2	暮らしの安全を守るために	4.549	0.239	2	0.70	3.606	0.275	1	0.93	I	0.944	4	A
3-1	自然と共生していくために	4.309	-0.002	4	0.81	3.366	0.036	4	0.90	III	0.943	5	D
3-2	経済が持続発展していくために	4.198	-0.112	6	0.85	3.141	-0.189	8	0.89	IV	1.057	2	B
4-1	市民から信頼される行政経営のために	4.066	-0.244	8	0.92	3.152	-0.178	7	0.87	IV	0.914	8	D
4-2	無駄のない行政経営のために	4.152	-0.158	7	0.88	3.199	-0.132	6	0.79	IV	0.954	3	D

凡例

◎相対評価

- I : 重要度・満足度とも平均値より高い項目
- II : 重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- III : 重要度の平均値は低い、満足度の平均値は高い項目
- IV : 重要度・満足度とも平均値より低い項目

◎評価エリア

- A : 重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- B : ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- C : 重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- D : 重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

4. 今後の居住志向

今回の市民満足度調査では、設問28に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。
集計結果については、次のとおりである。

①回答状況

	5： 思う	4： どちらかといえ ばそう思う	3： どちらともいえ ない	2： どちらかといえ ばそう思わない	1： 思わない
回答者数	148 件	61 件	47 件	20 件	18 件
回答割合	50.3 %	20.7 %	16.0 %	6.8 %	6.1 %

②回答者属性別の集計結果

	項目	平均値	標準 偏差	順位
男女別	男	4.189	1.14	1
	女	3.889	1.27	2
年齢別	若年層	3.385	1.31	3
	壮年層	3.878	1.21	2
	高年層	4.450	0.99	1
職業別	会社員	3.356	1.32	7
	自営業	3.957	1.33	6
	公務員	4.167	1.11	3
	農林水産業	4.650	0.65	1
	パート	3.474	1.14	8
	専業主婦	4.150	1.17	4
	学生	3.400	0.49	9
	無職	4.325	1.17	2
	その他	4.083	1.04	5

	項目	平均値	標準 偏差	順位
地区別	新城・柁原地区	4.044	1.32	3
	垂水地区	4.101	1.14	2
	水之上・大野地区	3.962	1.05	4
	協和地区	4.161	1.14	1
	牛根地区全域	3.756	1.37	5
居住年数別	5年未満	3.000	1.46	4
	5～10年	3.857	0.99	2
	10～20年	3.639	1.11	3
	20年以上	4.271	1.08	1

全体平均	標準偏差
4.024	1.22

※順位は項目カテゴリ内（男女別、年齢別等）の順位

③自由意見記入状況

自由意見は合計 173人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。

居住志向のある人の代表的な理由は、「住みやすい」「生まれ育ったまち」「ふるさと」といったキーワードが上げられた。また、反対に居住志向のない人の理由は「雇用問題」が上げられるが、その他固有の理由を記入した人が多く、詳細は「Ⅲ 調査データ」を参照いただきたい。

主な理由	5	4	3	2	1	未記入	合計
生まれ育ったまちだから	16	4					20
ふるさとだから	12	1					13
住みやすいから	28	5				1	34
自然環境がよいから	6	5					11
家・土地があるから	5		1				6
その他（思う理由）	19	18	1				38
雇用問題			4		1		5
医療問題				2			2
その他（思わない理由）			20	10	14		44
計	86	33	26	12	15	1	173

④評価・分析まとめ

①の回答状況より、今後の居住志向について「ある（5・4を選択）」とした人が、合計 209人（71.0%）となり、「ない（2・1を選択）」とした人、38人（12.9%）を大きく引き離れた。

②は回答者属性別の平均値を算出し、属性項目ごとの傾向や項目カテゴリ内の差異について検証を行った。

はじめに、評価者全体の数値であるが、平均値は 4.024、標準偏差は 1.22 となった。

次に項目カテゴリ内において、その属性項目ごとの傾向をチェックする。まず、男女別では男と女の開きが 0.3 ポイント、年齢別では高年層と若年層の開きが 1.065 ポイント、職業別では農林水産業と学生の開きが 1.25 ポイント、地区別では協和地区と牛根地区全域の開きが 0.405 ポイント、居住年数別では20年以上と5年未満の開きが 1.271 ポイントであった。

このように男女別・地区別は大きな開きがないが、年齢別・職業別・居住年数別では、1ポイント以上の開きがあり、③の回答状況にもあるように、「生まれ育ったまち」「ふるさと」がキーワードとして一致する傾向が見て取れた。

なお、今後の居住志向がないと思われる回答者の分析と対応については、5. 調査総括で行う。

5. 平成21年度市民満足度調査総括

今回の市民満足度調査では、「2. 政策別分析結果」で政策ごとに評価分析を行い、今後の施策推進のための方向性等を示すことができた。また、新たに「4. 今後の居住志向」の調査項目を追加し、回答者属性別の分析を行った。

ここでは、総括として、市民満足度調査結果から導き出された優先して取り組んでいく政策についてまとめている。

なお、各政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

①全体分析における政策評価

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。今回新たに設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

このニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

	政策名	ニーズ値	重要度の順位／満足度の順位（降順）
1	21. 働く環境の充実	1.598	重要度10位／満足度27位（1位）
2	11. 医療体制の充実	1.382	重要度1位／満足度9位（19位）
3	4. 子育て支援体制の充実	1.263	重要度4位／満足度12位（16位）
4	5. 学校教育の充実	1.179	重要度7位／満足度18位（10位）
5	25. 市民の期待に応える職員の育成	1.150	重要度18位／満足度26位（2位）
6	9. 高齢者保健福祉の推進	1.142	重要度3位／満足度6位（22位）
7	16. 環境の保全	1.084	重要度8位／満足度10位（18位）
8	10. 障害者保健福祉の推進	1.065	重要度11位／満足度11位（17位）
9	22. 魅力ある観光の振興	1.025	重要度21位／満足度25位（3位）
10	27. 財政運営の健全化	0.975	重要度19位／満足度22位（6位）

②居住志向のない回答者の政策評価

居住志向のない回答者の傾向を分析し対応することで、市民満足度の向上及び今後の居住志向のある市民の増加が期待できる。

ここでは、「4. 今後の居住志向」の回答で「1 思わない・2 あまり思わない」を選択した回答者のクロス集計を行った。その結果、ニーズ値（重要度－満足度）の高い上位10政策は次表のとおりである。

①で行った全体分析と比較すると、上位3つの項目は変わらないが「14. 快適な都市基盤の

整備」「13. 安心安全な地域社会の構築」のような安心安全・インフラをキーワードとしたもの、「16. 環境の保全」「15. 循環型社会の構築」のような環境をキーワードとしたものが大きく順位を上げている。

◎居住志向のない回答者／ニーズ値（重要度－満足度）

	政策名	ニーズ値	備考：全体分析の順位／平均値
1	11. 医療体制の充実	2.067	全体2位／1.382
2	21. 働く環境の充実	1.793	全体1位／1.598
3	4. 子育て支援体制の充実	1.505	全体3位／1.263
4	16. 環境の保全	1.502	全体7位／1.084
5	25. 市民の期待に応える職員の育成	1.457	全体5位／1.150
6	14. 快適な都市基盤の整備	1.432	全体12位／0.950
7	15. 循環型社会の構築	1.417	全体14位／0.946
8	22. 魅力ある観光の振興	1.361	全体9位／1.025
9	13. 安心安全な地域社会の構築	1.351	全体18位／0.914
10	12. 地域防災対策の推進	1.342	全体11位／0.967

③まとめ～平成21年度市民満足度調査結果から見える優先して取り組む政策～

これらの結果から、第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」に掲げた基本目標ごとに優先して取り組む政策を2政策ずつ掲げ、また、全体として特に重点化して取り組むべき政策を3政策掲げる。

基本構想「施策の大綱」名	基本計画の政策名	重点化
基本目標1 住民による住民のためのまちをつくる	4. 子育て支援体制の充実	◎
	5. 学校教育の充実	
基本目標2 安心して暮らせるまちをつくる	11. 医療体制の充実	◎
	14. 快適な都市基盤の整備	
基本目標3 環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	16. 環境の保全	
	21. 働く環境の充実	◎
基本目標4 市民を大切にすまちをつくる	25. 市民の期待に応える職員の育成	
	27. 財政運営の健全化	